災害対策について

1 災害対策の目的

ごみ処理施設は、地震や大雨等の災害が発生した際には、災害により発生する災害廃棄物の処理という役割を担う施設であることから、新しいごみ処理施設の整備ビジョンのコンセプトにおいて、「災害時にごみ処理を継続して実施できる施設」を掲げている。

また、国においては、平成25年5月に閣議決定した「廃棄物処理施設整備計画」の中で、基本理念の1つとして「災害対策の強化」を掲げるとともに、本事業が対象となる「循環型社会形成推進交付金制度」において、平成26年度からより多くの費用を交付するための要件として「整備する施設に関して災害廃棄物対策指針を踏まえて地域における災害廃棄物処理計画を策定して災害廃棄物の受け入れに必要な設備を備えること」を加えている。

これらのことを踏まえ、ごみ処理施設における災害への対策の基本的な方向性について検討することを目的とする。

2 具体的な災害対策

(1) 震災対策

ア 建築構造物の耐震対策

「エネルギー回収型廃棄物処理施設整備マニュアル」(環境省 平成28年3 月改訂)に基づき、「建築基準法」、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」等 に準じた設計・施工を行う。

建築基準法の耐震基準の概要を図1に示す。

建築基準法では、「中規模の地震動(建築物の存在期間中に数度遭遇することを考慮すべき稀に発生する地震動)に対してはほとんど損傷を生ずるおそれのないこと、また、大規模の地震動(建築物の存在期間中に1度は遭遇することを考慮すべき極めて稀に発生する地震動)に対して倒壊・崩壊するおそれのないこと」を目指している。

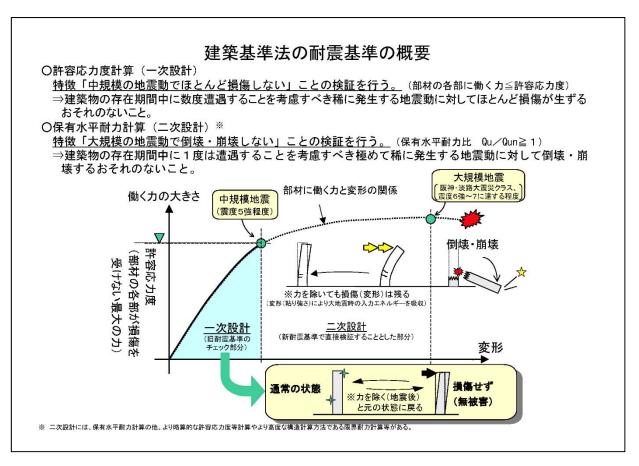


図1 建築基準法の耐震基準の概要(国土交通省)

次に、官庁施設の総合耐震・対津波計画基準における耐震安全性の目標及び 分類を表1に示す。

表 1 耐震安全性の目標及び分類

部位	分類	耐震安全性の目標	対象とする施設	用途例	備考
構	I類	大地震動後、構造体の補修 をすることなく建築物を使 用できることを目標とし、 人命の安全確保に加えて十 分な機能確保が図られるも のとする	(1) 災害応急対策活動に必要な 施設のうち特に重要な施設(2) 多量の危険物を貯蔵又は使 用する施設、その他これに 類する施設	・本庁舎、地域防災セン ター、防災通信施設 ・消防署 、警察 ・上記の付属施設 (職務住 宅・宿舎は分類Ⅱ)	重要度係数 1.5
造体(基礎、梁、床など	π粨	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることをを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られるものとする	 (1) 災害応急対策活動に必要な施設 (2) 地域防災計画において避難所として位置付けられた施設 (3) 危険物を貯蔵又は使用する施設 (4) 多数の者が利用する施設。ただし、分類Iに該当する施設は除く 	・病院、保健所、福祉施設	重要度係数 1.25
)	Ⅲ類	大地震動により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られるものとする	分類Ⅰ及びⅡ以外の施設	・ 寄宿舎、共同住宅、宿舎、 工場、車庫、渡り廊下等 ※都市施設については別に考 慮する	重要度係数 1.0

部位	分類	耐震安全性の目標	対象とする施設	用途例	備考
建築非構造部材(壁、天井など)	A類 B類	大地震動後、災害が最対のの 管理のするを 建築非構造し、大の安全確保が図 られている 大地震動態とと、人のの 管理等が発生しなの安全確保が 関連とし、十分な機能確保が図 られている 大地震動によりり建築非構造 と、大地震動によりを が、人の が、よりを が、人の が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	(1) 災害応急対策活動に必要な施設 (2) 危険物を貯蔵又は使用する施設 (3) 地域防災計画において避難所として位置付けられた施設 (1) 多数の者が利用する施設 (2) その他、分類 I 以外の施設	-	-
(配 建管 築配	甲類		- 呆及び二次災害の防止が図られて 幾能を相当期間継続できることを		ı
設線など)	乙類	大地震動後の人命の安全確何	呆及び二次災害の防止が図られて	いることを目標とする	-

※出典:官庁施設の総合耐震・対津波計画基準(国土交通省)及び構造設計 指針(東京都財務局 平成28年4月)を一部加工

これらの内容を踏まえ、新しいごみ処理施設では、人命の安全確保に加え、 ごみ処理機能の確保を図るため、建築構造物の耐震対策として3つの対策を講 じることとし、その対策を図2に示す。なお、重要度係数とは、施設の用途に 応じて、建築基準法に基づく必要保有水平耐力(大地震時に建築物が崩壊しな いために要求される建物の耐力)を割り増すための係数を指す。

- 耐震安全性の分類を構造体Ⅱ類、重要度係数を 1.25 とする
- 建築非構造部材は、耐震安全性「A類」を満足する
- 建築設備は、耐震安全性「甲類」を満足する

図2 建築構造物の耐震対策

イ プラント設備等の耐震対策

エネルギー回収型廃棄物処理施設整備マニュアルに基づき、「火力発電所の耐震設計規程 JEAC 3605」、「建築設備耐震設計・施工指針」等の基準に準じた設計・施工を行う。これらの基準及び近年の他自治体における動向を踏まえ、プラント設備等の耐震対策として3つの対策を講じることとし、その対策を図3に示す。

- プラント機器は、建築設備と同様に、耐震安全性「甲類」を満足する
- プラント架構 (ボイラ支持鉄骨など) は、「火力発電所の耐震設計規程 JEAC 3605」を適用して構造設計する
- 地震発生時に加速度 250gal (震度 5 弱程度) 計測時に自動的に炉を停止するシステムとする

図3 プラント設備等の耐震対策

(2) 液状化対策

「知多市地震防災マップ」の液状化危険度を図4に示す。

建設候補地は、過去地震最大モデル及び理論上最大想定モデルの両モデルにおいて、液状化危険度が極めて高いことが確認できる。

また、地質等調査業務委託(その2)において実施した建築基礎構造設計指針に基づく液状化判定の結果の抜粋を図5に示す。この図において、赤色の網掛け部分が液状化する想定箇所である。

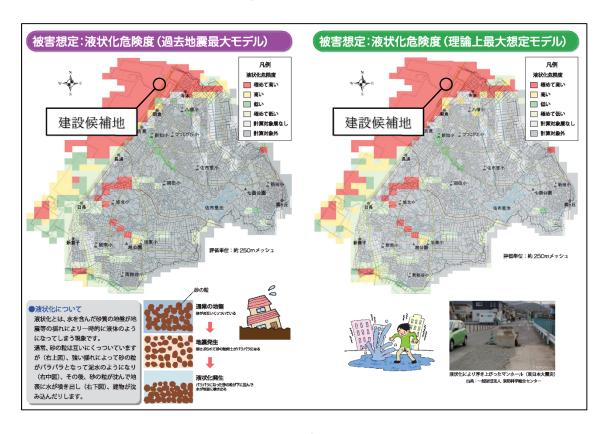


図4 知多市地震防災マップの液状化危険度(抜粋)

建築基礎構造設計指針に基づく液状化判定の結果(抜粋) <u>溪</u>

_	额。	Т										Т											\neg		П	额。	г													_	_	_	_			
	社整设力品数 依据函数 7k		_	-		92	-	- 80	-	- 5	-	-	_	-		90	-			92			-			では を で で で で で で で で が に が に が た が た が た が た が た が に が に が が が が	L			-		_	_		-					-	_	_	_	0.2	Ŀ	-
£	単独に					0,728	A I I I	9000	2000	0.652				0.854		0000	813			0.527					(A)	平然们																		0.626		
レベ/L2(350cm/s")	源妆化 超光率	١.				0.728	C80	9000	1897	0662	1361	100	1916	0.854	1839	0.000	1867	1800	Catro	early a	8190	0200			L~1/2(350cm	報状化				2280	2,135	1,828	1.891	1.558	1.536	1,926	1.924	1.529	1.538	1.551	1.969	1.333	1.403	0.625		١.
Š	AND T	Γ				17,82	1 100	91.46	2	18.64			T	21.61		19.64	10.07			14,85					7	II SMN																		16.87		
	原文 ガ	36.81	100	14.83	17.65	17.82	22.46	90.10	23.02	18.64	24.85	24.90	24.06	21.61	36.24	10.54	27.31		16.27		14.46	0 1	16.10			類と言葉	36.78	19.89	69.90	43.64	46.82	25.88	34.78	32.68	31.40	38.70	34.40	31.60	36.92	39.13	35.29	24.14	24.38	16.87	28.90	00 00
	对整双力所被 后被保整 7.k		_	,	-		T		-	_		T			-					0.5			-			お腹及力信款 信測信款 7.6									-					-						-
	148FL	t	T				t		Τ	T	T	†	Τ	Τ	Γ	T	Τ			0.922		t	1			1987																				Γ
レヘル1 (200cm/s*)	報告を		+	,		1.275	1 800	26.2	3 300	1143	2 617	6000	2127	1.494	3,218	1 208	3.26.7		0.960	\top	3.906	2	-		レベル1 (200cm/s ²)	報報会会		,	,	3.993	3.736	3,198	3.464	3,424	3,388	3.371	3,368	3.375	3.391	3.415	3,445	2.333	2,465	1.063	,	١,
2	4.45年	+	+			-	-	+	-	9 -	-	-	-	-	m	-			oi c	14.86	o c	3	\dashv		アネプ	4 2014年	H			esi .	ei ei	ei .	ei ei	esi .	eri	ei .	m	esi .	69	ei	m	2	~	-	H	H
	HENB F	36.31		14.83	17.55	17.82	25.40	2 2		18.64	24.85	00.40	24.00	2151	36.24	16.54	27.31		12.51	Т	14.46	,	01.91			AENB Na Na	36.78	19.89	06'36	43.54	46.32	25.38	34.76	32.58	31.40	36.70	34.40	31.50	36.92	35.13	35.29	24.14	24.39	16.37	95.30	00 00
	想 图 2	36	+	4	2 17	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	2 8	+	F :	+	\dashv		H	E Z	13	18	1 95	33 47	35 46	18 25	32	34	30 31	37 36	33	37	36	45 35	42 35	24 24	23	9	7 95	8
_		+	+	_		1	1.	+	+	1	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	e e	+	m	-2.80	H	Z 数(g 服(g)	62	2.3	3,3	87	5.3	6,3	7.3	\dashv	_		_	Н	_	Н				-	6.0	H
į	<u> </u>	92	25	9	22	00	1 2	3 3	3 2	3 2		3 3			1 00		1 6	5 5	20 P					ਰ											23	0		8	6.3	2	un I	1 00	18			
-	製造 ない	B ₈	-	Bs 2.3	Be 3.3	-		+	٠	+	+	+	2		т	+		+	A 18.3	+	2 .		Ae 20.3	培下水位: GL-2.80m		を 中間 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	80	e E	æ	ő	S E	S D	86 7	Ba 8.3	A ₆ 9.3	As 10.3	As 11.3	As 12.3	Ag 13.3	As 14.3	Ag 15.3	As 16.3	As 17.3	As 18.3	- ov	
	を	+	-					8 3	2	2 4	a a		No.2			å	_	+		2 .		2	Ac 20	站下水位: 0		を は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	8 8				8 10	8 0	88	8	**************************************	S. C.	A ₈				2					
	は は は は は は は は は は は は は は	+	-					+	2	900	Š		No.2			+	_	+		0.2			Ane 20	站下来位: 6		を設成などの音 音板 も	8 20		Be		0.05		88	100 cc	8	970	A ₈						2			
	(現在) (現在) (現在) (現在) (現在) (現在) (現在) (現在)	60	8	8 00	- m	28	4	-		900	i i	2000	Ho.2		8	-			3	0.598 0.2	- V	-		6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6	(4)	を設定しています。 を記述 (利服) はない はない ないままま (利服) はない はない アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	l m	_	-	80	0.508 0.05 Bs	m l	8 0	0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.0		0.883 0.6		2	8	2	-	°Z	0,822	No.	8	-
	高級を大力を表現した。 大型を大力を表現を表現を表現を表現しています。 では、大力を表現しています。 では、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、	60	8				4	-		20 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1100	2000	1,247		8	-				0.568 0.2		-	- Vec 20	战元朱位 10	(4)	新女子 大型原 (東京の日本 大型を 東京 (東京 大型) (東京 大型 大型 大型 大型 大型 (東京 大型 大型 大型 大型 (東	8				0.506 0.508 0.05	8 0	88	0.463 0.444 0.05	0.406	0.680 0.880 0.6	A ₈				2		G.822 0.822	No.	96	-
	高数 (1988年 1988年	90 (1)	500	8 00	- 88	300	An The State of th	200	- Page 0	0,000 0,0000	1180	2000 0000	1247 No.2	1321	1,766	1.767	1801	St. Control of the state of the	1,822	17.50 0.568 0.2	0.589	-		格下米貨: 6		を			-	· 0	13.36 0.506 0.508 0.05 Es	30		19.76 0.468 0.005 Ba	040¢	18.76 C.880 0.883 0.6	1.368	1,767	1.778	1984	1.519	1,788	21,06 0,822 0,822	1.864	1.362	
	高度 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	60	500	8 00	- m	300	An	200	- P.	12.21 0.459 0.008	1100	2000 0000	1247 No.2	1321	1,766	1,762	1801	St. Control of the state of the	3	17.50 0.568 0.2	- V	-		指下本位:ロ	(4)	議員とは	4.56	_	-	80	0.506 0.508 0.05	m l	8 0	0.463 0.444 0.05	0.406	0.680 0.880 0.6		2	8	2	-	°Z	G.822 0.822	No.	8	
1		90 (1)	500	8 00	- 88	300	An The State of th	200	1000 PM	0,000 0,0000	200	2000 0000	26.85 1.247	1321	1,766	1.767	1801	St. Control of the state of the	1,822	17.50 0.568 0.2	0.589	-		指示がは、	(4)	新版版 50.50kk			-	· 0	13.36 0.506 0.508 0.05 Es	30	99 30 B	19.76 0.468 0.005 Ba	11.06	18.76 C.880 0.883 0.6	1.368	1.767	1.778	1984	1.519	1,788	21,06 0,822 0,822	1.864	1.362	
s-)		90 (1)	500	8 00	- 88	300	An The State of th	1000	1000 PM	12.33 12.31 0.453 0.055	200	20 00 31 00	26.85 1.347	1321	1,766	1.767	1801	St. Control of the state of the	1,822	17.50 0.568 0.2	0.589	Control of the contro		指す本位の	(9 ²) V~AA2(360cm/s ²)	新聞の子が開発 (金属 1985年) (本語 1985年) (-	· 0	13.06 13.36 04506 0.506 0.05 Bs	99):00	99 30 B	14.45 0.463 0.444 0.05	9040	18.76 C.880 0.883 0.6	1.368	1.767	1.778	1984	1.519	1,788	21,06 0,822 0,822	1.864	1.362	
s-)	数数表の 本数数分類	90 (1)	00000	8 00	- 88	06.99	- C0 95	1000	2000	0.758 0.1 12.23 12.21 0.454 0.653	200	11.00 O.81 1.00 O.81	26.85	32.33 1.754	36.81 1.266	1 202 1 203	108	No. of the last of	1,822	17.50 0.558 0.2	0.589	Office Co.		地方水位, (2)	(9 ²) V~AA2(360cm/s ²)	新聞の子が開発 (金属 1985年) (本語 1985年) (-	· 0	0.1 13.06 13.36 0.506 0.508 0.05 Be	99):00	99 30 B	0.48 0.44 0.05 Ba	9040	19.78 15.76 0.880 0.880 0.88	1.368	1.767	1.778	1984	1.519	1,788	21,06 0,822 0,822	1.864	1.362	668
s-)	1996 1997 1998	6989	00000	88	- C6.96	06.99	- C0 95	1000	2000 C C C C C C C C C C C C C C C C C C	0.758 0.1 12.23 0.454 0.653 0.058	0310	1130 0000	3.052 26.85 1.247 No.2 Ac.	32.33 1.754	36.81 1.266	1 262	108	No. of the last of	2 JUZ 1,322	17.50 0.558 0.2	1742 Q589	Office Co.	- C6:36	格下米位; G	(4)	のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		18,69	08'66	99.06	0.885 0.1 13.06 15.36 0.506 0.508 0.05	99.00 = 05.06	99.50	0.728 0.1 14.45 0.463 0.44 0.05 Be	0.710 0.496 0.496	19.78 15.76 0.880 0.880 0.88	25.15 1.388	30.76	37.07 1.77g	1,784	25.49	26.23 1.739 As	21.06 0.822 0.822	30.19 1.864	24.62 1.362	666
s-)	1	6989	Sh Control	88	- C6.96	- C6.98	- C0 95	1 99 OF 1 1086	- PSP 0	12.51 0.780 0.11 12.33 12.51 0.453 0.06	00770	0.110 0.000	3.067 2.085 1.347 No.2	30,000 30,000 0,00	36.81	3118	3.161	And the state of t	2 JUZ 1,322	17.50 0.588 0.2	1742 Q589	20000	- C6:36	地下水位。G	(9 ²) V~AA2(360cm/s ²)	1		18,69	08'66	99.06	0.085 0.885 0.1 13.06 13.36 0.506 0.506 0.05	99.00 = 05.06	99.50	0.846 0778 0.14.45 0.493 0.444 0.05 Es	0.710 0.496 0.496	19.78 15.76 0.880 0.880 0.88	25.15 1.388	30.76	37.07 1.77g	1,784	25.49	26.23 1.739 As	21.06 0.822 0.822	30.19 1.864	24.62 1.362	Coco
UKAU(200cm/s*)	N語 4.E.S.ME 3.20gec	6989	- 09900 PE		- C6:56 1	- C6.86	- C0 00 U0 00	1 99 OF 1 1086	1960 PSP 1	800 8890 FEBRO 16621 10 892.0 192.0 166211	2	11.40 U.13 U.13 U.13 U.13 U.13 U.13 U.13 U.13	22 28.65 3.063 26.85 1.747 No.2 A.	28 32.53 3.070 32.33 1.754	37 3881 3.091	2971	27 28.16 3.151	The state of the s	29 27,02 3,189 2,102 1,822 1,822 1,9	17.50 0.568 0.2	11 17:42 1048 17:42 0,559 As	Prince to	- C6:36 - D5:66		U-5/U1(200cm/s ³)	Name ALEXAND 2019616	456	18,69	05'66	90 00066	13.08 0.685 0.885 0.1 13.06 15.36 0.506 0.508 0.005 Es	- 0506 = 0506	68 08:66	19.78 0.0846 0.738 0.1 14.45 1.978 0.0463 0.044 0.005	0,710 0,710 0,406 0,406	12 19.76 1.189 15.76 0.850 0.860 0.65 Annual	20 2516 2.429 25.15 1.368	27 3076 3.082 30.78 1.767	39 3707 3.112 37.07 1.27.6 Re	24 2651 3,139 25.51 1,794	22 25.49 2.645 2.549 1.519 I	24 2823 3.043 28.23 1,789	18 21.06 1.439 21.06 21.36 0.822 0.822 A.	29 3019 3.287 30.19 1.884	20 2452 2,383 2452 1,362	10000
UKAU1(200cm/s*)	1	88.60 - 68.63 - 68.	23.0 0855		- 08.99 I - 08.99	4.3 1 99.50 = Be	- C000	10 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 0	1000 A 1000 Digital Colors	5.3 5 12.33 12.31 0.750 0.758 0.1 12.33 12.21 0.453 0.08	0.00	11.40 U.13 U.13 U.13 U.13 U.13 U.13 U.13 U.13	11.3 22 28.86 3.067 7.000 000 000 000 000 000 000 000 000	12.3 28 32.33 3.010 32.33 1.754	13.3 37 3881 3.061	14.3 40 41.15 3.118 41.15	28.18 3.18.18 3.18.18	Library Water	27.02 3.189 2.7.02 1.322 A.S.O. A.S.O	17.50 (2.58) 0.2	17.42 1.048 17.42 0.558 As	PC 200 PC	- C6:36 - D5:66	能存录应: G. S. Zinn	U-K.IJ.(200en/s²)	1	- 4.89	2.3 20 1859 - 18.69	_ D5'66 _ D565	- 05:66	13.06 13.08 0.885 0.1 13.06 15.36 0.806 0.508 0.05	993.0	05.00 = D2.000	14.45 12.28 0.845 0.728 0.14.45 1.2.78 0.453 0.44 0.05	11.06 U.7.0 0.0710 U.7.0 0.495 U.7.0 0.495	19.76 1.189 0.56 0.560 0.560 0.56 1.189	25.15 1.368 2.429	30.76 3.062 30.75 1.767	37.07 3.112 37.07 1.77g	26.51 3.139 25.51 1.794 Ag	25.49 2.648 1.519 I	26.23 3,043 28,23 1,789	21.06 1.439 21.06 21.06 0.822 0.822 A	18.3 29 3019 3.287 30.19 1.084	19.3 20 24.52 2.383 24.52 1.363	10000 UI 0000

地帯信号

No.3

教権

No.1

これらを踏まえ、液状化対策を実施する範囲を設定し、その範囲における液状化対策を実施することを基本的な方向性とする。その内容を図6に示す。

- 液状化対策の実施範囲建築物及び構造物の設置区域を液状化対策の実施範囲とする
- 液状化対策の検討建設候補地における液状化判定の結果等を踏まえ、設計時に液状化対策の実施範囲を特定し、具体的な対策を実施する

図6 液状化対策

(3) 浸水対策

ア 津波対策

「愛知県津波浸水想定」(愛知県建設部 平成26年11月)の抜粋を図7に示す。

愛知県津波浸水想定において、建設候補地は津波による浸水は想定されていないことが確認できる。

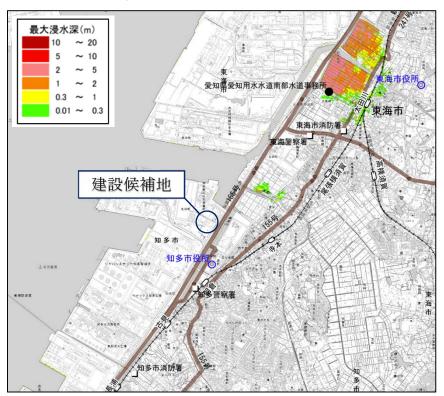


図7 愛知県津波浸水想定(抜粋)

イ 高潮対策

「愛知県高潮浸水想定」(愛知県建設部 平成26年11月)の抜粋を図8に、その解説書に含まれる市区町村別の最大高潮水位の抜粋を表2に示す。

愛知県高潮浸水想定では、建設候補地において、最大1.0mの浸水が予測されており、また、知多市の最大高潮水位は東京湾平均海面(以下「T.P.」という。)で5.6mであることが確認できる。

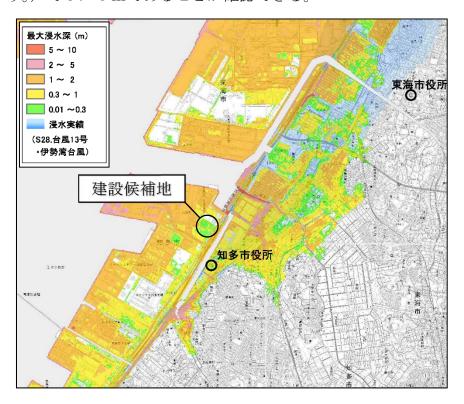


図8 愛知県高潮浸水想定(抜粋)

表っ	市区町村別の最大高潮水位	(抜粋)
1V Z		

		最大高潮水位	
市町村	台風時の平均満潮位 (T.P.m)	予測偏差 (m)	最大高潮水位【※】 (T. P. m)
知多市	0.87	4. 65	5. 6

[※]最大高潮水位とは、陸地と海の境界(水際線)から沖合い約30m地点における高潮の水位を標高で表示している。

また、エネルギー回収型廃棄物処理施設整備マニュアルでは、「ごみピットの 浸水対策として、プラットホームは浸水水位以上とすること」、「電気室・中央 制御室・非常用発電機・タービン発電機など主要な機器及び制御盤・電動機は 浸水水位以上とすること」、「灰ピットは浸水水位以上とすること」、「浸水水位 までをRC造(鉄筋コンクリート造)とし、開口部に防水扉を設置すること」 を浸水対策の一例としてまとめている。

これらを踏まえ、高潮対策として4つの対策を講じることとし、その対策を 図9に、これらの対策のイメージ図を図10に示す。

- 次に掲げる設備、施設等は、T.P.で 5.6m以上の高さに設置する
 - 〇 プラットホーム
 - 〇 灰ピット
 - 主要な機器を有する部屋、機器、制御盤及び電動機

図 9

- 建物の構造について、T. P. で 5.6mの高さまでは RC 造とし、開口部に は防水扉を設置する
- 高潮浸水想定を踏まえ、施設稼働に影響を及ぼさない対策を実施する

高潮対策

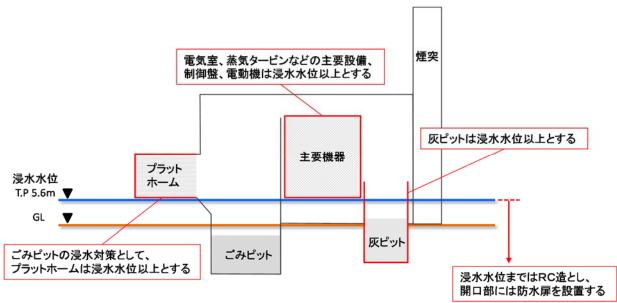


図10 浸水対策のイメージ図

(4) 停電対策

エネルギー回収型廃棄物処理施設整備マニュアルに基づき、停電対策として2つの対策を講じることとし、その対策を図11に示す。

● 始動用電源

商用電源が遮断した状態でも、1炉立ち上げることができる発電機を 設置する。発電機は、浸水対策が講じられた場所に設置する

● 燃料保管設備

始動用電源として用いる機器に応じた燃料種について、始動用電源を 駆動するために必要な容量を持った燃料貯留槽を設置する

図11 停電対策

(5) 断水対策

エネルギー回収型廃棄物処理施設整備マニュアルに基づき、断水対策として断 水時にも運転が継続できるように図12に示す対策を実施する。

● 代替水源の確保

上水道及び工業用水道が断水した状態でも、1週間程度の用水を確保 できるように、用水タンクの整備等の必要な取水対策を実施する

図12 断水対策

(6) その他の対策

その他、災害時に滞りなくごみ処理を行うための対策として、エネルギー回収 型廃棄物処理施設整備マニュアル等に基づき、2つの対策を講じることとし、そ の対策を図13に示す。

● 薬剤、燃料等の備蓄

薬剤、燃料等の補給ができなくても、運転が継続できるよう、貯槽等の容量を決定するものとする。なお、備蓄量は、「政府業務継続計画 (首都直下地震対策)」(平成26年3月)を踏まえ、1週間程度とする

● 事業継続計画の策定

災害や疫病などの緊急事態が発生した際に、ごみ処理事業の継続や復旧を速やかに遂行するための事業継続計画(Business continuity planning: BCP)を策定する

図13 その他の対策